



注意

- 開梱時に部品の種類と数量を確認してください。●商品に異常がないことを確認してください。
- 柱開き止めはブロック施工以外の場合に使用してください。

名称・略図・数量

柱開き止め x 1
L = 柱内寸法は、指定のない場合
L = 1000からの現場切断となります。

※取付穴：
片側は工場加工、反対側は
現場寸法確認後の現場加工となります。

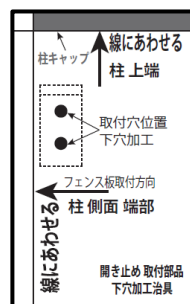
取付部品治具 x 1

φ4×13ドリルネジ (細目) x 2

取付部品 x 2

φ4×13ドリルネジ (細目) x 4

※柱開き止めの規格長さからの2本取りは、不可となります。



■取付方法

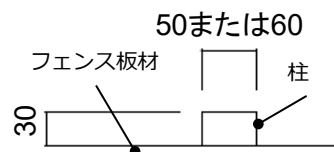


注意

- 板最上段から柱開き止め上端が出ないように、取付部品の位置決めを行ってください。

添付治具使用時は、
最上段すきま材が10mmの場合で、
板最上段から5mm下に開き止めを
取付する寸法になります。

※50×30・60×30角柱に
施工する場合は、
50または60の面に板材
を取付けてください。

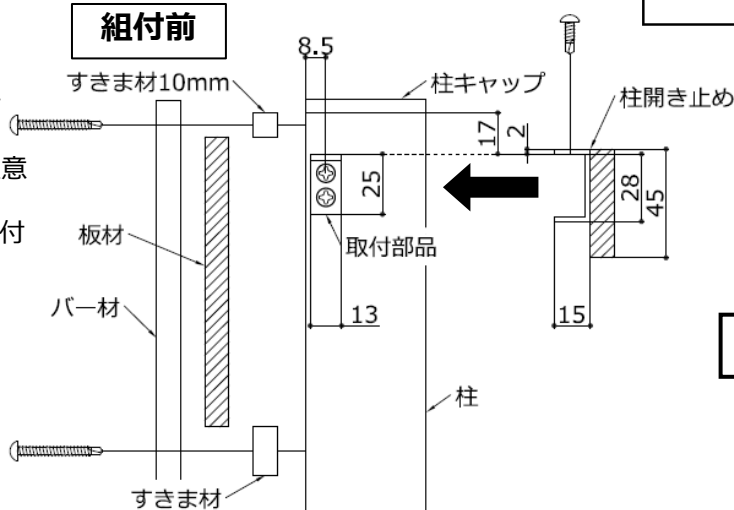


※柱芯芯1000mmスパンの場合。
現場の状況にあわせてすきまを設けてください。

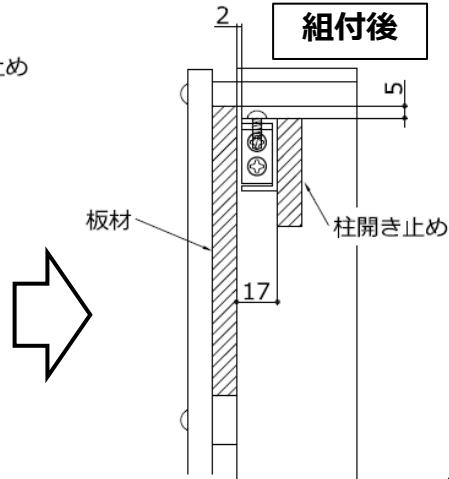
	柱角数	柱内々 柱開き止め長さ
アルミ柱 (ラミネート)	40×40	960
	50×30	950
	60×30	940
	50×50	950
	60×60	940
	70×70	930
コート柱	40×40	960
	52×52	948

- アルミ柱でV溝がある場合にはV溝がある面が板を取付ける面になります。
柱の施工向きにご注意ください。
P2 2 取付金具の取付を参照ください。

組付前

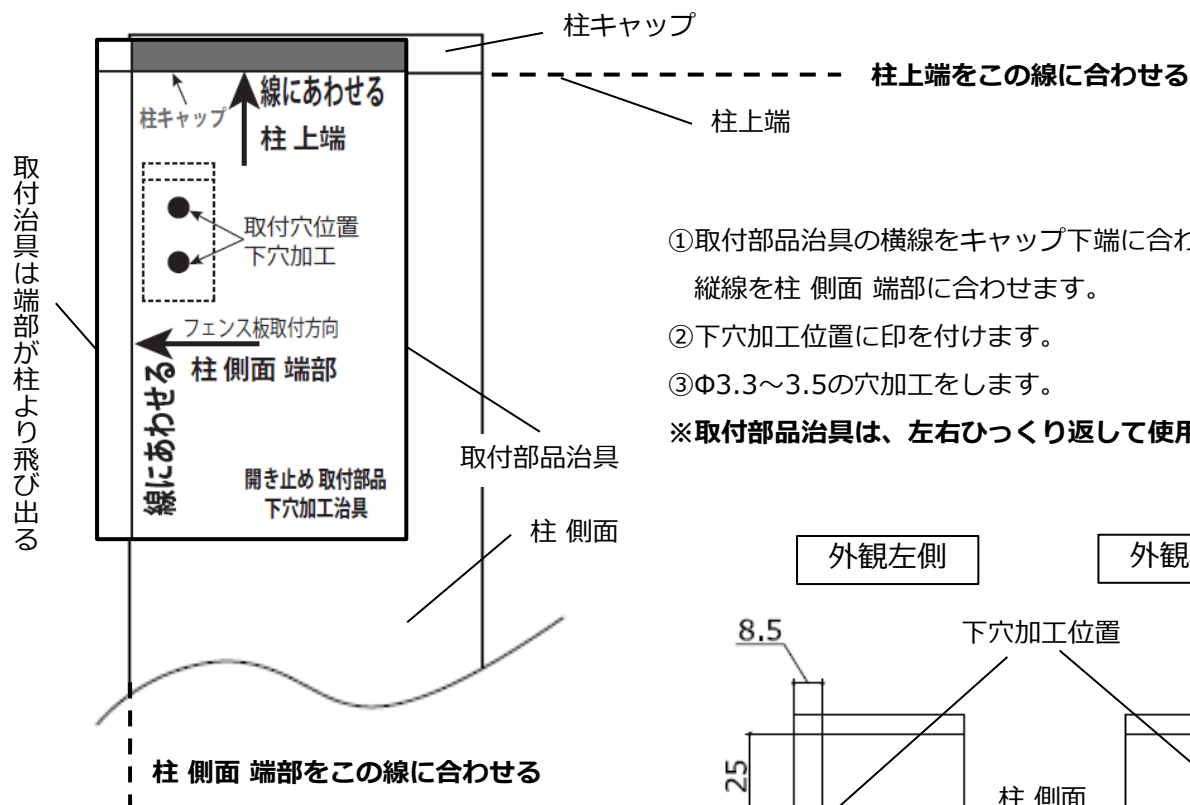


組付後



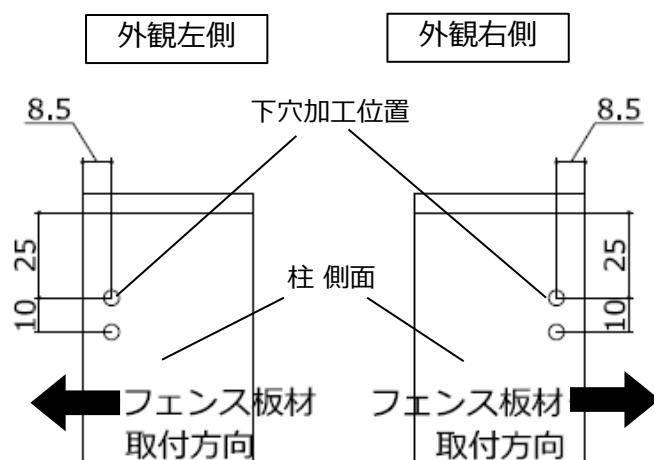
■ 取付について

1 取付穴加工（取付部品治具：最上段すきま材10mm用）



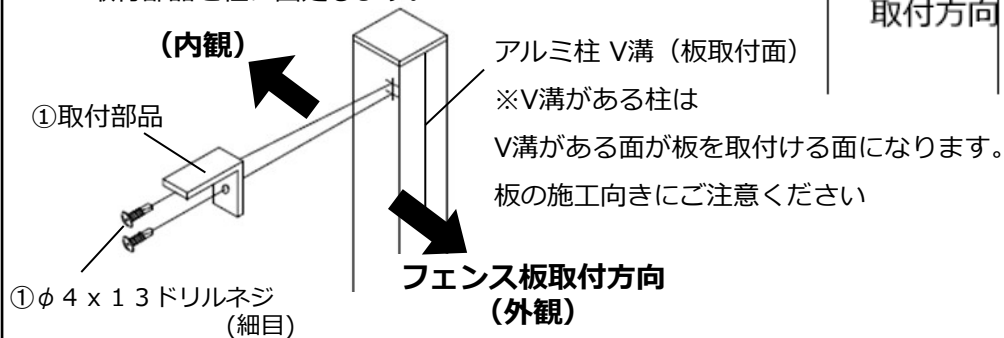
- ① 取付部品治具の横線をキャップ下端に合わせ
縦線を柱 側面 端部に合わせます。
- ② 下穴加工位置に印を付けます。
- ③ $\phi 3.3 \sim 3.5$ の穴加工をします。

※取付部品治具は、左右ひっくり返して使用してください。



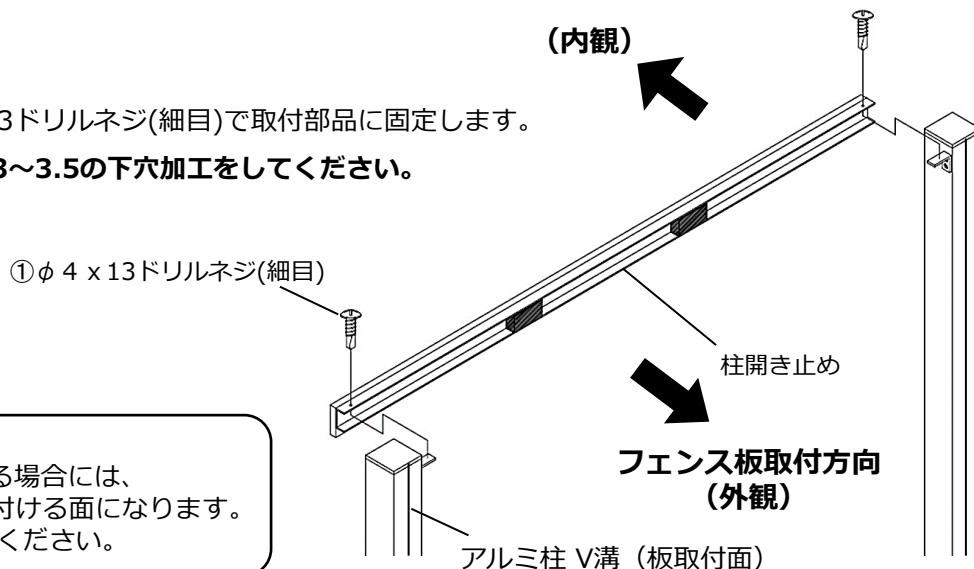
2 取付金具の取付

- ① $\phi 4 \times 13$ ドリルネジ(細目)で
取付部品を柱に固定します。



3 柱開き止めの取付

- ① 柱開き止めを、 $\phi 4 \times 13$ ドリルネジ(細目)で取付部品に固定します。
※ネジ取付前に、 $\phi 3.3 \sim 3.5$ の下穴加工をしてください。



注意

- アルミ柱でV溝がある場合には、
V溝がある面が板を取付ける面になります。
柱の施工向きにご注意ください。